

⑤ 消極的肯定2 (各種理由により消極的受容)

84名 (4.1%) (男性41名、女性43名) : 10代男性12名、20代男性10名、30代男性5名、40代男性4名、50代男性10名 ; 10代女性10名、20代女性15名、30代女性5名、40代女性8名、50代女性5名

代表例 : わるいことではないとおもう (10代男性) / 否定すべきではない愛の形だと思う (10代男性) / 同性の人から自分のことが好きだと言われた場合、自分は付き合うことは出来ないと思うが、そういう人がいるのは事実だし、容認すべきことではあると思う。(20代男性) / したい人だけがすればよいことであって、ちゃんとコンドームもつけたりし、正しい性行為を行えば問題無いと思う。(20代男性) / 身近にいないが、テレビなどの影響でマイナスイメージはない。(30代男性) / 心の問題なので変える必要もないと思うし変えられるとも思わない (30代男性) / 特別な偏見は持っていないつもりです (40代男性) / そういう人がいるのは否定できない。(40代男性) / 法律に触れるわけでもなく特に問題は無いと思う。(50代男性) / 歴史的に見ても慣行例は多く否定するものではないと思うが、特に興味を持つほどではない。(50代男性)

自分の周りにいないので、今は少し差別的な目で見えてしまうが、もっと同性愛の人たちのことを理解したいと思っている。(10代女性) / 恋愛というものが愚かしい。人間であるのに、性欲という極めて動物的で卑俗な欲望に支配されているという、その事実を自然であると無考慮に決めつけている人々を同性愛、異性愛問わず、軽蔑している。しかしセックスしないなら、共助の関係を築くことも悪くないと思っている。同性愛か異性愛かは、関係ない。(10代女性) / 完全に理解することはできないと思うが、同性でもその人たちが好き合っているのならば構わないと思うし、周りがとやかく言うものではないと思っている。周りに同性愛の人がいたら、受け入れられると思う。(20代女性) / 生物としての役割、つまり子孫を残すという観点から考えると、正しいことだと言っているのかわからないが、実際にテレビで見たり、知り合いにも同性愛の人がいる。その人たちを否定するつもりはないし、世界的にも認められてきているので、これから多くなっていくのではないかと思う。(20代女性) / 昔よりは知られているとは思いますが、まだ広くは認知されていない。知り合いに同性愛者はいないが理解できる。(30代女性) / 良いと思うが男性同士の HIV 感染は食い止めるべき (30代女性) / 今まで身近にいたことがないけど、今はテレビなどでも取り上げられ特に意識することなく思う (40代女性) / よく考えてみると、そういう人も多いと思う それを受け入れるとか受け入れないとかは人それぞれだと思う でもそれで悩んでいる人がいるとしたら 批判するとかではなく理解してあげられる事も大事だと思う。自分の周りにはそういう人はいないのでハッキリは言えないですが、居たとしたらそっとしておいてあげたいと思う。(40代女性) / 否定しない (50代女性) / これだけ世の中がボーダーレスになってきているので、私自身は偏見はない方だと思う。本人同士が自己責任において行動するのは、通常の恋愛と変わらないと思う (50代女性)

⑥ 消極的肯定3 (病気、生まれつきだから仕方なく受容)

62名 (3.0%) (男性29名、女性33名) : 10代男性3名、20代男性3名、30代男性9名、40代男性7名、50代男性7名 ; 10代女性1名、20代女性5名、30代女性5名、40代女性10名、50代女性12名

*注：誤解に基づく記載もあるが、そのまま掲載

代表例：病気なら仕方がない（10代男性）/性同一性障害など、生まれながらそのような人は同性愛になってもしかたないと思う。（10代男性）/先天的な病気、障害であり、気持ちの持ちようによって変わるものではない。いくら自由恋愛が進んだとはいえ、個人的には認められない。（20代男性）/先天的な影響が大きいと思うので、本人の意志で変えるのは難しいと思う（20代男性）/遺伝子の問題だと思うので、一概に拒否するのは難しいと思う。このような問題は、国の習慣（教育や宗教）だと思う。単に拒絶する世の中は今にはそぐわないと思う。（30代男性）/環境ホルモンとか影響してるのだから簡単な話じゃなくて、脳と体が一致してない先天性の同一性障害の人もいるし、ありのままで自分も周囲も生活すればよいと思う。（30代男性）/生まれ持ったもの（病気の一つ？）と思う。しかたない（40代男性）/遺伝子異常（40代男性）/先天性の病気と理解すれば個人的に受け入れることはできるが、それを許容する社会ではないのも事実だ。（50代男性）/同性に惹かれる性向と言うのは、どうやら脳の構造による・・・と言う記事を雑誌上で読んだ覚えがあります。本人の意思でどうにもならない性向ならば、それを「異質」と捉えて排除、差別すると言う社会は、改善の余地があると言うコトなのではないでしょうか？（50代男性）

正直、生物学を超越していると思う。何かの原因がないと同性愛者は出てこないだろう。ホルモン異常など。ある意味病気だと思う。（10代女性）/先天的なものであるから、直せるものではないし、直す必要もない。（20代女性）/一種の病気だという考えなので、仕方がない（20代女性）/体質というか気質？生まれ持った感覚なので、性同一性障害と似たようなモノかなあ…愛することは素晴らしいコトなので、同性愛とか特に気になんないです。堂々としていてほしいと思います。（30代女性）/心の病気なのでしかたないとおもう。（30代女性）/脳の作りの問題なので、後天的には変えられないと思う。誰に迷惑をかけているわけでもないし、問題ない。（40代女性）/生まれつきだからしょうがない。受け入れるべきだし社会も偏見の目で見るのは良くない。（40代女性）/生まれつきのものだと思うので周りが理解してあげるべき、うけいれるべき（50代女性）/遺伝子の関係や染色体など、本人ではどうしようもないこともあると思う（50代女性）

⑦ 消極的肯定5（仕方がないという消極的受容）

53名（2.6%）（男性22名、女性31名）：10代男性3名、20代男性5名、30代男性4名、40代男性7名、50代男性3名；10代女性3名、20代女性5名、30代女性6名、40代女性12名、50代女性5名

代表例：しかたないこと（10代男性）/しょうがない（10代男性）/仕方がないことだと思う。（20代男性）/変えられるような問題ではないので、しょうがない。（20代男性）/生物学的には外れているけどそうなったものはしょうがないと思う。（30代男性）/仕方がないことだと思う（30代男性）/本人の意思ではどうにもならないものだから仕方がない（40代男性）/仕方がないというのが正直なところ。否定はしないが国力の足しにはならない人類に発展にも意味をなさない生産性のない種類としか言えない。（40代男性）/仕方が無いと思う（50代男性）/まあ、どうしようもない（50代男性）

同性愛は仕方がない（10代女性）/そうとしかならぬのならしょうがない（20代女性）/仕方がないことであると思う。（20代女性）/良く分からないが、まあまあ肯定する気

持ちもある。しょうがないような気持ち。(30代女性) /仕方がないことなので、受け入れる方向ではあるが、実際はどうか分からない。(30代女性) /これはどうしようもないことなので、いいも悪いもなく、仕方がないことだと思う(40代女性) /人類として考えてみると、子孫繁栄のためには望ましくないが、その人個人にしてみれば、自分でもどうしようもないことなのであるから、かわいそうだと思う。(40代女性) /よくわからない。ただ、その人にとってそれが普通なのだから仕方がないのだと思う。(50代女性) /理解はできないが、性癖なので仕方ないと思う(50代女性)

3. 制度・意識改革等に言及した肯定 (246名:11.9%)

⑧その他の肯定1 (支援制度、教育改革)

120名(5.8%) (男性42名、女性78名):10代男性10名、20代男性11名、30代男性11名、40代男性7名、50代男性3名;10代女性14名、20代女性21名、30代女性23名、40代女性1011名、50代女性9名

*注:誤解に基づく記載もあるが、そのまま掲載

代表例:いわゆるLGBT、性的少数者についての教育や議論を推進すべきだ。(10代男性) /LGBTに対する社会の取り組みは、近年見られるようになってきたが、まだ追いついていない。また、婚姻制度などの法律的な対応については、日本は国際的に大きく遅れをとっている。(10代男性) /興味の対象は人それぞれ。本人が同性を好きだと思えば、それでいいのではないかと思う。海外でも実際に愛し合っている同性の婚姻が許されている国があったりするの、周囲の人々がサポートしていく体制を取っていくべきである。(20代男性) /TVのバラエティ番組で演者が、よく同性愛についてからかっている。この現状は非常に悪いと思います。同性愛の方々は非常にいやな気持ちになっていると思います。これは、同性愛ではない私も非常に怒りを覚えます。一部の演者が時々言ってしまったというのならまだしも、日常茶飯事ではありませんか。それに、これが問題にならない世論も意識が足りないと思います。同性愛の方々に、思いやる気持ちが必要だと思います。(20代男性) /好きになる相手がたまたま異性になっただけなので、そこについては特に問題視はしていません。ただ一般生活を送ることに、いろいろな制限が生まれると思うので、支援できるような環境が日本にもあっていいのではないかと思います。(30代男性) /個々の問題であり、他人がどうこう言う問題ではないが、差別を受けないように教育する必要はあると思う(30代男性) /自分の考えが当然だと考えてしまっているうちは、同性愛者の理解ができないので、教育でしっかり教えるべきだと思います。そして、そういう人たちが攻撃の対象にならない社会を築くべきです。気持ちは一生わわからずとも、立場に立って考えることができるように。(40代男性) /性同一障害であるならば支援は必要と考えていますが、どのように判断するのが難しいと感じています。(40代男性) /別に時に奇異とするにあたらぬ。そもそも稚児愛や若衆など、日本では歴史的には受け入れられてきた性習慣である。キリスト教原理主義的性規範を無理にわが国に持ちこむ必要などない。様々な美意識の元に日本民族の美学が存在していることが重要。同性愛を問題にしたがるのは糞マスコミなど、日本=低レベル民俗と規定したがらる連中の性癖であり、そちらの方を問題視すべきだ。(50代男性)

最近同性愛という言葉をよく聞くようになった。理解が深まるように学校等で教育をしても良いと思います。(10代女性) /悪いものでもないし、ひとつの恋愛の形として正しい

と思う。同性愛に偏見を持つ人はおかしいと思うし、国としても、同性愛の結婚を認めたりなど、支援すべきだと思う。(10代女性) /偏見はない。大学の授業で同性愛・異性愛・両性愛について学んでいるが、同性愛者の友達がいる・自分は同性愛者だ、と言ってる人がとても多い。だが今の日本では社会的関係上、公にできないことがほとんど。異性愛者と同じように普通に生きていけるような社会がほしい。「男」「女」という概念は、あくまで生物学的上の分類だということ、異性愛者は多いだけで両性愛や同性愛の人もいるということ、を小さい時からしっかりと教えて頂きたい。(10代女性) /同性愛はれっきとした現象 男女の恋と同等に扱われるべき マジョリティが支配する世界で同性愛は市民権を得ていなかっただけ これからは世界的にもっと同性愛が認められる環境づくりをすべき (20代女性) /同性愛者だからといって迫害されるべきではないし、好きにできる世の中であるべきだとは思いますが、生き物としては子孫を残すというのは大事な仕事だと思うので少子化が進んでいる事もかんがえると、自分が同性愛者だと意識していない人が自分がそうかもしれない、と気づくきっかけをわざわざいらずらにつくってしまうような大々的な支援は行われるべきではないと思う。ただ、社会保障の面などでは同性のパートナーでも男女の夫婦と同じような待遇を受けられるようにしてもいいかもしれないと思う。(20代女性) /社会が今までないがしろにしていた性の自由化をこのアンケートを通してさらに痛感している (20代女性) /アメリカの様に会社幹部や州政府幹部に同性愛者を受け入れる制度を設けても良いと思う (20代女性) /悪いことではないと思うが小学生などにはあまり触れてほしくない内容だと思う。ネット社会でいろんなことが簡単に調べられるけど、同性愛についても性についても間違った知識を身につけてほしくはないので、大人への第一歩として中学生になったら、きちんと正しい知識を教えるべきだと思う。同性愛者に会ったことはありませんが、人を好きになる気持ちは同じだと思います。初めは戸惑うと思いますが、特別おかしいことではないと思います。(30代女性) /本人の指向によるものや、性同一性障害によるものなど、さまざまだと思う。隠すことよりも、きちんと教育の場で伝えることで偏見も減るのではないか。(30代女性) /これまで勤務先の同僚などで同性愛者と触れ合う機会が多かったため(第三者として本人の話聞く程度)、他の人よりは偏見が無いと思うが、世間一般の認識はまだまだこれからだと思います。間違った偏見を広めない為にも教育は必要だと思います。(30代女性) /職業が偏ってしまう傾向にあると思うので、社会での差別意識をなくす必要があると思う (30代女性) /全ての人が同性愛になったら人類滅亡してしまうので政府が推奨する必要はないが、存在を認めて、結婚や養子や財産相続などそれら人生に関する制度について異性カップルと同じ保証を得られるようになると思う。(40代女性) /今までの人生でかわりを待たなかったのも、よく分からないというのが正直な気持ちです。ただ、今のまま何もしないのは「気持ち悪い」とか「変な人」とかいうマイナスのイメージしか植えつけないので、もっとオープンにして教育をする必要はあると思います。(40代女性) /まだまだ偏見を持っていたり医療的にもまだハードルが高いところがあると思う。いち人間であることに変わりはない。オープンで差別なく働けるよう社会も変われば良いのにとおもいます。(50代女性) /小さい頃から自覚症状があるらしいので、努力で治らないのではないかと。だとしたら、日本も容認するような法律を作った方がいいのではないかと。同和教育と同じように、差別しないように扱うべきだと思う。(50代女性)

⑨その他の肯定2 (理解すべき・偏見をなくすべき等の意識改革)

97名(4.7%) (男性47名、女性46名) : 10代男性17名、20代男性13名、30代男性6名、40

代男性 6 名、50 代男性 5 名；10 代女性 7 名、20 代女性 9 名、30 代女性 11 名、40 代女性 6 名、50 代女性 13 名

*注：誤解に基づく記載もあるが、そのまま掲載

代表例：同性愛の方は生まれてきた以上、それをなおすことはとても難しいことだと思う。なので、一般の人々はそれをいかに受け入れるかが重要であり、差別、偏見はしないことが大切だと思う。(10 代男性) / 個人の自由だとは思いますが、生命の循環とは違うわけだからそんなにおおっぴらに「同性愛者の権利が〜」とかはやるべきではないと考えています。同性愛者の差別や偏見は減らすべきだとは思いますが。(10 代男性) / 当人たちが同意のうえでなら、他人は口をはさむべきではないだろう。同性愛者であるということを知ったうえで罵倒をするようなことはもってのほかだ。そのような環境はあるべきではないと思う。(20 代男性) / 自分は同性愛者ではないが、そういう人がいても良いと思う。色々な思想があることを受け入れ、差別や偏見がない社会になればいいと思う。(20 代男性) / 偏見が多い(からかいの言葉に使われるなど)が、自分もよくわかっていないのも事実。原因等を知りたい。(30 代男性) / 日本でももっと多くの人に理解されるべき(30 代男性) / よくわからないが、差別されるべきではないと思う(40 代男性) / 同性愛は個人の性癖、性同一性障害という病気…どちらであったとしても、偏見や差別があってはならないと思う。(40 代男性) / 偏見を持つべきではない(50 代男性) / 自分が全く同性に性的興味を持たないので理解は難しいが、性同一性障害が認知される昨今、偏見は薄れゆく傾向にあるのかなと(50 代男性)

男性が女性を好きになったり、女性が男性を好きになると全く同じように、同性を好きになる。同性愛が少数だからと言って特別扱いをしたり、非難したり ばかにするのはよくないと思う。(10 代女性) / 同性愛は普通のひとが異性をすきになると同じことだと思うから、無理に隠す必要も治す必要もないと思う。また、偏見の持たれない社会を作るべきだと思う。(10 代女性) / 友人で同性で付き合っていた人が 2 人いました。とてもデリケートで友達の私でも踏み込めないほど難しいものでした。実際身近にいたからこそ、もっと同性愛について若いうちからの理解が必要だと思いました。(20 代女性) / 同性愛に対する偏見などはなくなればいいなと思う。(20 代女性) / 人によって性的興奮につながる刺激も違うし求める愛も違うので、同性愛もありえると思う。大々的に支援対策や教育するというよりは、異常ではないという意識が少しずつ浸透していけばいいと思う。(30 代女性) / 同性愛などのあまり無い境遇の方は、きっと当人が真面目に悩んでしまうほどに苦しい思いをしているんだろうから、周りがむやみにかからうのは良くないし、それについて辛い思いをしているなら話を聞いてあげたりとか、私達も普通に接するようになるとかの気遣いは必要だと思う。でも、あからさまにすると、逆に本人を傷つけてしまう事もあるかと思うので、気を付けることも大事だから、少し難しい部分もあるかと思う。(30 代女性) / 同性愛の人の気持ちはわかりませんが、当人にとってはどうすることもできない問題だと思うので、世の中にはそういう人達もいることを認めていき、偏見の目で見ないようにしていかなければいけないと思う。(40 代女性) / 人それぞれだから、迫害することは行きすぎだとも思う。(40 代女性) / 同性愛は本人の意志で変えられるものではなく、また性的嗜好は生命・身体に危険を及ぼすものでない限り、他者が関与するものではないと考える。性的嗜好は、人の能力・性格・人格に全く関係ない。特に欧米ではキリスト教の所為で、事件に発展するケースも多いが、他の差別と同様、あってはならないと思う。(50 代女性) /

差別することなく理解すべきだと思う (50代女性)

⑩その他の肯定3 (差別しないが、教育・支援はいらない)

32名 (1.6%) (男性17名、女性15名) : 10代男性1名、20代男性6名、30代男性5名、40代男性3名、50代男性2名 ; 10代女性5名、20代女性3名、30代女性5名、40代女性1名、50代女性1名

*注 : 誤解に基づく記載もあるが、そのまま掲載

代表例 : 個人の自由だから別に構わないと思う。だからといって同性愛を肯定的にとらえるのは少子化対策の面で問題がありそうだから、積極的な差別是正は必要ないと思う。(10代男性) / 考えています。同性愛者の差別や偏見は減らすべきだと思いますが。(10代男性) / バカにするのはよくないが、特段保護したり優遇したりする必要はないと思う (20代男性) / 普段、意識していないので、これといった考えはありません。ただ、アンケートを通じて思ったのは、同性愛に対する偏見を解消するための理解促進は必要かと思いますが、そのような教育がきちんとなされるような社会であれば、支援などの特別扱いが必要とは思いませんでした。男女でも同性でも、自由に恋愛して自由に結ばれていけるような社会になればそれでいいと思いました。(20代男性) / そういう属性の方々がいること自体に異論などはありません。一方でマイノリティであること理由に特に支援を与えることには反対です。(30代男性) / 生物学的にもみてもおかしい。同性愛者であることは本人の自由だが、それ以上のことを回りに求める事は全く認めるべきではない。(40代男性) / 同性愛は本人の自由であるから、別に構わないが、同性婚のような社会的地位を求めることには反対である。社会的秩序が守られなくなる。(50代男性)

実際に同性の方を好きになったこともあるし 異性を好きになったこともあります。今現在も同性の方が好きですがそれで悩んだことはありません。また、同性愛だということを友人に話すことも出来ていて、友人はそれを冗談だと思っているのかもしれませんが一応受け入れてくれています。授業で同性愛について聞いたことがあります。私が思っていたより多くの方が同性に対して恋愛感情を抱いていると知りました。しかし周りで同性愛であるという友人に出会ったことが無いので、多くの方が言えずにいるのではないかと思います。また、同性愛に対する差別を無くす授業が、同性愛で悩む本人たちにとっては触れてもらいたくない物である場合も多いということなのかもしれません。(10代女性) / やはり社会的には少数派になるので、問題があるように思う人も多いと思うのですが、私個人としては、「個人の思想・感情に関する部分なので、基本的には何も問題ない」と思います。まるで病気のように扱われるのは間違っていると思いますが、かといって、特別な支持や支援が必要なことではないのではないかと思います。同性を愛しても、相手に受け入れられれば(周囲に迷惑をかけなければ)それでいいのではないかと思います。それでも、結婚や出産を考えると、親や家族の理解を得るのが一番大変なのではないでしょうか。(20代女性) / 私は同性愛者ではないので、その方々の悩みとかは分からないかもしれませんが、必要以上に保護、教育することが正しいとは思えません。あるがままの人格を受け入れるのが最も大切なことであると思うので、同性愛についての教育ではなく相手のことを認める教育をすればいいだけの話だと思います。(30代女性) / 自分には無い感情なので、どこか他人事という感じはあります。最近ではタレントの方も多くいるので、認知はされていると思います。個人の感情なので、自由でいいと思いますが、特別に何かする

ことも無いように思います。(40代女性) /本来の動物としての姿ではないが、人間にはそれなりの背景や理由があつての同性愛だから、否定することはない。かといって、認める認めないも周りの自由であるから、教育や支援はおかしい。(50代女性)

II 否定派：304名(14.8%)

①強く否定：140名(6.8%) (男性103名、女性37名)：10代男性16名、20代男性9名、30代男性18名、40代男性26名、50代男性34名；10代女性4名、20代女性6名、30代女性4名、40代女性9名、50代女性14名

代表例：理解できない(10代男性) /宗教的観点からよろしくないと思う。(10代男性) /個人的には気持ちが悪い(20代男性) /非生産的(20代男性) /まったく体が受け付けられないと思う。(30代男性) /種族の繁栄を考えると、好ましくないと思う。自然の倫理に反している。(30代男性) /かかわりたくない。(40代男性) /特に男性同士は理解できない(40代男性) /病院で治療すべき(50代男性) /個人的な問題なので干渉はしないが、ゲイは生理的に全く受け付けられない。(50代男性) /考えた事も無いし考えたくも無いです(50代男性) /禁断というイメージがぬぐえない。(50代男性)

正直理解できない(10代女性) /おかしいと思う(10代女性) /昔は本人が良ければそれでいいと思っていたが、友人が同性同士でキスしたり、ヤったりしているのみで、まじ吐き気がするぐらい気持ち悪いと思った。関わらないでほしい(20代女性) /あり得ない(20代女性) /最近ではよく聞く言葉だが、自分自身では受け入れがたい(30代女性) /同性愛は、反対(40代女性) /そういう人がいるのはわかるが私は認めません。そういう芸人もテレビ等で活躍されてますが不快に思います。(40代女性) /良く分からないし、理解できない。(50代女性) /私は同性愛は考えたくない部類にはいる。(50代女性)

②弱めの否定：110名(5.3%) (男性66名、女性44名)：10代男性17名、20代男性7名、30代男性14名、40代男性15名、50代男性13名；10代女性7名、20代女性6名、30代女性5名、40代女性15名、50代女性10名

代表例：自分からすれば正直なところあまり良しな物とはいえないと思う。ただ、この事は人がとやかく言う事ではないのでしてはいけないものではないので間違いではないと思う。(10代男性) /最近、高校時代の友達が同性愛(ホモセクション)だという話を本人からされました。高校の時はそれがバレないようにしようとして一生懸命勉強だけをして、成績はいつも学年で10位以内(学年170名)でした。そういう話を先日、電話でされて驚いて、引いてしまい、今は少し避けています。本当はダメだと思いますが、自分には理解できません。(10代男性) /同性愛自体に関しては自由だと思うが、それに自分が関わったときに同性愛者を傷つけるような行動や言動をしてしまうかもしれない。(20代男性) /人それぞれ色々な考えがあると思うので仕方がないことだと思うが、正直自分には全く理解できない世界である。(20代男性) /人権的見地から考えると是と考えるが、昨今の少子化問題を考えると非と言わざるをえない。(30代男性) /理解はできても、受け入れることはできない。(30代男性) /性一致障害?のこともあるのでいちがいには良い悪いは言えない。ただ、申し訳ないが男同士を考えると少々気持ち悪いという感覚はある。(40代男性) /私はクリスチャンですので、聖書に従います。同性愛者を受け入れることはできませんが、非難することもしません。苦しみ悩みの中にある方を愛し、寄り添い、共に考え、共に悩み、神に祈ることだけが私がさせて頂けることかなと思います。(40代男性) /個人的にはN○だ

が、全面的に否定する気持ちはない。(50代男性) /自分には理解できないが、現実には存在している以上、否定してはいけない。(50代男性)

差別はいけないと思うが、同性愛ということに対して理解はできていない(10代女性) /本人の自由だし、異性を好きになるのとそれほど違いはないと思う。しかし同性愛者が増えると少子化がさらに進むと思うので、それは問題だと思う。(10代女性) /自分が異性を好きになるように、同性愛者はその相手が同性だったというだけなのだから、いじめ・差別はいつか撤廃されるべき。ただ、そのことを理解しながらも、自分はやはり同性愛について「気持ち悪い」という感情を抱いてしまう。(20代女性) /生まれ持ったものだからしょうがないけど、やっぱり理解し難い部分のほうが多い(20代女性) /必ずしも否定できないような気もするが、自分にはわからない感情である。(30代女性) /世の中には男性と女性がいるのにも関わらず、同性同士がSEXする事は不自然な行為であると思うからどちらかと言えば賛成はできないが、差別する対象としてみることはない。(30代女性) /当人の問題であり、差別してはいけないと思う。またじゃけにからかうなどの対象にしてもいけないと思う。が、個人的には深入りはしたくない。(40代女性) /今テレビにあまりにもじゅうまんしているのであたりまえになっているのが少しこわい(40代女性) /昔はマンガなどで軽いタッチで描いてあるものを読んでいたが、その後少しリアルな描写で書いてあるものを見、嫌悪感というか、見たくないという印象に変わってしまった。今も真剣に交際している人もいるのだろうが、倫理的には正しくないのではないかという気持ちで、たとえば罰則などを設けるということではないが、支援をするというのも違うような気がする。どちらかという、あまり身近な問題では無く、ふだんから関心をもって生活しているとは言えない。そして、あまり深く考えたくないという感じ。よくないかと、このアンケートに答えながら思ったが、どちらかという避けて通りたいと今も思っているかもしれません。(40代女性) /不自然で、しっくりこない。でも、太古の昔からあったことみたいだし・・・理解できません。(50代女性) /性同一性障害 ということであれば、本人の責任でもないし、治るものでもないし、仕方ないと思うが、感覚的にはなじめない。(50代女性)

②身近な同性愛は否定: 45名(2.2%) (男性11名、女性34名) : 10代男性0名、20代男性2名、30代男性3名、40代男性4名、50代男性2名 ; 10代女性0名、20代女性5名、30代女性13名、40代女性9名、50代女性7名

代表例 : 形としてありだと思ふ。生まれ持った、またはその人の人生経験の中でそうなるだけであり、当然自分たちもそうなる可能性がある。他人が否定すべきではない。しかしながら、実際に自分の近い立場の人がそうである場合、普通に接することができるかは分からない。

(20代男性) /実際に自分の子供から打ち明けられたら受け入れられるか想像できない(20代男性) /関わりのない周囲の話としてしか考えたことがないので、いざ自分の身近な人がそうだとした時に、どういう考えに至るのか実感が無い。友人と家族とではまた違った結論になるだろうし、難しい問題ではあると思う。(30代男性) /他人が勝手にするのはよいが、家族や友達がそうだったら、自分はどのような行動・発言をするか想像がつかない。

(30代男性) /ネットや書籍等で見聞きする分には偏見も無いし、気にもならないが、自分や自分のまわりと想像すると受け入れる自信はない。(40代男性) /人それぞれだと思うが、いざ自分の子供がそうだとしたら少なからず動揺すると思う。次の世代を作っていって欲しいし、孫の顔もみたいと思う。それは殆どの人がそうであろう。ただ同性愛だとい

う人もそれが分かっていると思うので、悩んでいたり、傷ついていたたりもするのだろう。そうでない自分がどうしたらいいのかは正直難しく、考えさせられる。(40代男性) /本人が良ければかまわないが、家族にいれば反対(50代男性) /人それぞれの姿があるので、本人が納得しているのであれば構わないかなと思うけど自分がその人たちを受け入れられるかどうかは、分かりません。(50代男性)

他人がどうだろうと構わないが、自分の子どもがそうなった時のことを考えると嫌だ。(20代女性) /同性愛も異性を愛することと同じように、人を愛することなので否定してはいけません。ただ、実際に身近な人に同性愛者であることを告白されたらすぐには受け入れることが出来ない気がします。なので、小さい頃から同性愛について知っていればもう少し受け入れやすいのではないかと思います。(20代女性) /否定はしないが、やはり抵抗がある。身内にいると、認めたくなくなる。根本的な意識から、身近ではない。(30代女性) /最近テレビにも同性愛の人が出ているので、一昔前よりは抵抗がなくなったと感じます。ただ、家族が同性愛だと、ちょっと受け入れがたいのが本心です。親しい友人なら、かなり驚きはしますが「そうなんだ」と受け入れると思ひ、今まで通り付き合いします。(30代女性) /男同士、女同士、同性愛が在るのは理解したいが、自分の子供がそうだった場合、複雑な思いをすとおもう。(40代女性) /後天的なものでなく、先天的なものと思うので、本人の意思で変えることはできないものだと思う。友人家族にそういう人がいるとは思いたくないが、いたとしても友人は受け入れられると思うが、家族は受け入れがたいものが残ると思う。(40代女性) /いろんな個性があっても良いと思う。ただ、それでは自分の配偶者や子供がそうだったらどうかと聞かれればもろ手を挙げて受け入れることはできないと思う(50代女性) /仕方がないか、と思うができれば家族にはいて欲しくない。(50代女性)

③認めるが公にすべきでないという否定：13名(0.6%) (男性8名、女性5名)：10代男性0名、20代男性4名、30代男性1名、40代男性1名、50代男性2名；10代女性1名、20代女性0名、30代女性1名、40代女性1名、50代女性2名

代表例：人の嗜好に口を出すつもりはないので、好きなら好きで良いとは思ひが、特別な支援をすということには反対。あくまでも一般の常識からは離れていることなので、あまり大っぴらにしては欲しくない。(20代男性) /基本的に構わないが、あまり公にすべきで無いと思う(20代男性) /本人の意思ではどうしようもない障害である為、差別や偏見はすべきではない。しかし、受け入れるにも勇気がいるので、積極的にアピールするべきではない。(30代男性) /否定はしませんが、あまり堂々と言われても周りの人が気を使うのでちょっと・・・(40代男性) /非生産的・且つ非合理。動物としての理に反する。個人の指向として密かに行うのはよいが、公にするのはいかなものかと考える。アメリカなどにならう必要はない。(50代男性)

きちんと認めて制度を整えていくことは必要だが、そのことが必要以上に同性愛を一般的なものとして広めてしまうのはよくないと思う。(10代女性) /偏見は多いとおもうので、あまり表だって報道したり公表したりしないほうが良いとおもう。(30代女性) /絶対だめだとかいう否定はしないが、堂々と公にするものなのか、疑問に思ふこともある。(40代女性) /やっぱり普通ではないと思うので、恥じることはないけれど、おおげさに広めるべきでもないと思う。(50代女性)

④女性同士はいいが男性同性愛は否定：9名（0.4%）（男性9名のみ）：10代男性1名、20代男性4名、30代男性1名、40代男性3名、50代男性0名

代表例：女性同士なら許せる（10代男性）/女性ならまだ許せるが男性は気持ち悪い（20代男性）
/種の保存という観点から考えてはあってはならないことである。男性同士は完全にあってはならずそのような人は淘汰されるべきである。しかし、女性同士は技術の進歩で子供が作れることが可能性として示されているため完全に否定することはできない。（20代男性）/ホモはキモい。レズはAVで見るぶんにはエロい。（30代男性）/全く理解不能だけど、女性同士は妙にキレイなイメージがあるのは微妙な感じ。男性同士は汚いだけって印象。（40代男性）

Ⅲ 肯定で否定でもない不明う群:125名(6.1%)

①気持ちがわからない・近くにいないのでわからない：56名（2.7%）（男性20名、女性36名）：10代男性2名、20代男性8名、30代男性5名、40代男性4名、50代男性1名；10代女性1名、20代女性6名、30代女性8名、40代女性10名、50代女性11名

代表例：会ったことがないので何ともいえない。（10代男性）/自分がそういう立場ではないのでよくわからない（20代男性）/実際にいるのは確かだが、自分の身の回りにいないので実感がわからない。身近にいるという感覚が分からない。（20代男性）/そういう人がいるのはわかるが、身近にはいないのでよくわからない。（30代男性）/気持ちが理解できないのでなんともいえない（30代男性）/他人事でどんな問題があるか知らない。（40代男性）/芸能の分野でしか認識がない。精神的な病気なのかどうなのかもわからない。（40代男性）/身近にいないので、なんともいえない（50代男性）

身近ではないので正直なところよくわかりません（10代女性）/実際に同性愛だという人と関わったことがないので、自分には全く関係のない話だと思ってしまう。（20代女性）/身近にいないので考えたことが無い。（20代女性）/なかなかセンシティブな話題。まだ同性愛の人間と会ったことがないので、どのように対応したらいいのか、わからない。（30代女性）/偏見はなく、異性を好きになると変わらないとは思いますが周りにいないので何ともいえない（30代女性）/自分の理解できない世界なので、わからない。本人同士の問題だし、差別する気もない。「若い子が好き」「年上が好き」などといった好みの一種で、「同性が好き」ということなのかな？！上手く言えません。（40代女性）/周りの人々の中に同性愛だという人がいないので、身近な感じがなく、ドラマやTVの中の遠い話のように感じます。（40代女性）/小説やドラマでは感情を理解できる気がするが、現実でどのように対応できるかわからない。（50代女性）/自分にはそんなことは考えられないが実際同性愛の人の状態がよくわからないのでコメントはできない（50代女性）

②今の日本では理解されづらい存在：46名（2.2%）（男性20名、女性26名）：10代男性8名、20代男性4名、30代男性5名、40代男性2名、50代男性1名；10代女性9名、20代女性7名、30代女性5名、40代女性3名、50代女性11名

代表例：悪くもないが、日本ではなかなか受け入れられないものがあるのではないかと。（10代男性）/好きになった相手が同性であっただけ。と文字で起こせば簡潔に締めることが出来るが現実問題そうはいかない。日本において、同性愛というのは漫画やアニメ等のサブカルチャーの中で身近に感じられているが、それも創作の中の話。現実にそのような人がいたら、中々どう対処して良いか迷うことになるだろう。私個人の意見としては、否定はしないが

応援も出来ない。中々難しい立ち位置になると考える。最初に書いた通り、好きになった相手が同性であっただけで他の人を好きになる心は本物と断言出来る。が、現実問題同性と付き合うというのは中々難しいし世間的に受け入れ難い。故に、否定はしないが応援は出来ない。私はそのように考えている。(10代男性) /外国では結婚も認められたりもしているが日本では偏見が強い(20代男性) /年齢の好みとさほど変わらないが、受け入れられない人がいるのも事実。普段の生活は男と女で区別した環境であるため、同性愛の人や同性愛を受け入れられない人が、同じ更衣室や浴場を使用するのは、双方つらいと思う。

(20代男性) /周囲にいないので偏見もあるが、性同一性障害のテレビを見て、考えが変わりました。しかし、一般的にはまだまだ偏見があると思う。(30代男性) /そういう人がいることは理解できる。そういう人に異性だけしか愛してはいけないということを強制したところで、その人は受け入れられないと思うので、社会としてはそういう人もいるということも認識して理解すべきだと思う。しかし一方でいろんな意味で同性愛を受け入れられない人もいるわけだから、簡単に社会が受け入れるようになるとも思えない。難しい問題だと思う。(40代男性) /まだ日本では受け入れられないと思う(50代男性)

最近では以前と比べると、"性同一障害"という言葉が世間に知られるようになったからか同性愛に対しての知識が世間の人に多少知られたように感じるが、それでもテレビや何かしらの影響のせいで同性愛者への目は冷たいように思われます(10代女性) /私個人は同性愛にあまり悪いイメージはないが、世間一般ではまだまだあまり理解がないと思う。それを表立ってどうにかしようとは思わないし、理解を求める必要もないと思う。ただ、同性愛の人達がひっそりとでも幸せになってくれたらいいと思う。(10代女性) /本人の自由。その方にとっては自然なことであり、決して差別の対象とすべきではない。マイノリティであるため、生きにくさを感じやすいと思う。メディアによって、同性愛の認知は広まってきた。しかし、配慮に欠ける表現も見受けられ、まだまだ理解の途中であるといえる。(20代女性) /個人の自由なのでとやかくいうつもりはない。ただ、外国に比べて日本は同性愛に対して寛容ではないので、当事者の方たちは大変だと思う。(20代女性) /生まれながらに同性を愛する、という人に対しておかしいとは言えないと思う。ただ世間から好奇の目で見られたり、風当たりがあるのも仕方ない事実だとも思う。(30代女性) /自分は異性にしか恋愛感情がわからないので、よく分からない。でも、知り合いが同性愛者だと分かっても、「ああ、そう。」くらいにしか思わなかったし、特に違和感がなかったのも、特別なことは何もないと思っている。ただ世間的には偏見が多いし、同性愛者は生きづらい環境ではあるだろうな、と思っている。(30代女性) /周囲の理解を得るのが難しそう(40代女性) /個人の思考・好みの問題なのでどうこう言う事ではないが、日本の法律では婚姻は認められていないし、自身もまだ特別なことと言う意識がある。(50代女性) /好意を抱くの性別は関係ないが、現状では難しい(50代女性)

③同情：8名(0.4%) (男性6名、女性2名)：10代男性2名、20代男性0名、30代男性3名、40代男性1名、50代男性0名；10代女性0名、20代女性0名、30代女性0名、40代女性2名、50代女性0名

代表例：かわいそうだと思う(10代男性) /女にはなれないので、かわいそう。(30代男性) /性同一性障害の人が苦しんでいるのがかわいそう(40代女性)

④難しい問題：15名（0.7%）（男性7名、女性8名）：10代男性1名、20代男性1名、30代男性2名、40代男性2名、50代男性1名；10代女性1名、20代女性2名、30代女性2名、40代女性2名、50代女性1名

代表例：難しい問題である（10代男性）/難しい問題（20代男性）/かなりデリケートな問題なので十分に議論すべき（30代男性）/とても難しい問題だと思う（40代男性）/避けては通れない問題だと思う（50代男性）/

あまりよく分からない 難しい（10代女性）/難しい社会問題であると思う。（20代女性）/私の友人から同性愛者と告白されたときは、正直驚きましたが、彼女のおかげで、同性愛者について考えるいい機会となりました。本人の両親には、隠しておきたい彼女の気持ちなどを考えると、とてもデリケートな問題だと思います。（30代女性）/難しい問題だと思う（40代女性）/難しくてわからない（50代女性）/

IV 興味なし・その他群:319名(15.5%)

①興味がない・どうでもいい：44名（2.1%）（男性35名、女性9名）：10代男性4名、20代男性5名、30代男性6名、40代男性13名、50代男性7名；10代女性0名、20代女性2名、30代女性0名、40代女性3名、50代女性4名

代表例：どうでもいい（10代男性）/ご勝手に俺は女の子が好き（10代男性）/ご自由にどうぞ（20代男性）/自分には関係ないこと（20代男性）/興味なし（30代男性）/どうでもいい（30代男性）/あんま興味ないな（40代男性）/興味がない。（40代女性）/自分には関係ない、好きにしたら良い。（50代男性）/思考の対象外（50代男性）

興味なし（20代女性）/他人の性癖まで関心がない（40代女性）/特に興味、関心がない（50代女性）/

②特になし、わからない・無記載：258名（12.5%）（男性155名、女性102名）：10代男性17名、20代男性26名、30代男性30名、40代男性38名、50代男性44名；10代女性20名、20代女性15名、30代女性15名、40代女性24名、50代女性28名

②その他：17名（0.8%）（男性11名、女性6名）：10代男性0名、20代男性264名、30代男性2名、40代男性5名、50代男性0名；10代女性5名、20代女性0名、30代女性0名、40代女性1名、50代女性0名

代表例：自分自身がバイセクシャルなので、同性愛についてのこういった調査は興味深いし、身近でもある。が、落胆もする。「同性愛者はいるか」を聞くならば「両性愛者はいるか」もセットにして聞いてほしい。同性愛が一性愛として確立されていけばいくほど、同性愛者からも異性愛者からも孤立して埋もれていく気がして複雑な気持ちになります。（20代男性）

1-1. 性的多様性についての一般集団の意識に関する研究(ネット調査)

【結果概要及び考察】

- ① ネット利用状況：ネットで知りあった人と実際に交際した経験は、最多は30代男女で20%弱。ネットが交際相手を見つける一つの手段となっている。
- ② 各種性関係容認意識：容認＝[かまわない]（*完全容認のみを記載）
 - ・ 中学生の性行為容認率は、10代男女が最も高く20%前後、全年代平均5-10%。
 - ・ 高校生の性行為容認率は、10代男女が最も高く40%前後、全年代平均15-20%。
 - ・ 婚外交渉の容認率は、20代男女が最も高く6-11%、全年代平均2-8%。
 - ・ カジュアルセックス容認率は、全年代平均4-9%。
 - ・ 男性同性愛容認率は、全年代平均13-27%、10代女性が最高で40%。女>男
 - ・ 女性同性愛容認率は、全年代平均20-30%、10代女性が最高で40%。女>男
 - ・ 買春容認率は、全年代平均13-25%、20-30代男性が最高で30%弱
 - ・ 売春容認率は、全年代平均10-20%、10-30代男性が最高で20%強

* 男性同性間性行為の容認率を、2012年（本年度）の調査と1999年に我々が実施した全国国民意識調査の結果と比較したものを下図に示す。（注：年齢、対象者数はほぼ同じであるが、調査方法に違いがあるため単純な比較はできないが参考として掲載）
- ③ 同性愛であるとの告白に対する受容率：
 - ・ 同性愛告白（友人）の受容率は、全年代平均30-55%、30代女性が最高で60%強
 - ・ 同性愛告白（家族）の受容率は、全年代平均30-50%、20-30代女性が最高で55%
- ④ 同性愛についての知識
 - ・ 知った時期は、中学生が最も多く、全年代平均では35%前後であったが、10代では男子70%、女子85%と極めて高値であり、10代の情報源はテレビ、マンガに加えてネットが多いという特徴があった。以上のことから、中学生に対する正しい情報提供の必要性とさらに文部科学省の学習指導要領等の学校における性教育の集団指導の限界も考慮しネット利用の重要性が示唆された。
 - ・ 比較的早い中学生という時期に、同性愛について認知しているが、特に若い年代層でも知識の正解率は40%未満に留まっていた。
- ⑤ 同性愛に対する差別・嫌がらせの現状：（よくあった+まあまああった+ときどきあった）
 - ・ 学校内で生徒同士の同性愛に関するからかい嫌がらせは、60-70%。
 - ・ 学校内での教員から同性愛に関するからかい嫌がらせは、20%前後。教育者が生徒に与える影響が大きいと考えると問題あり
 - ・ 周囲の人による同性愛に関するからかい嫌がらせは、50%前後。
 - ・ 回答者本人による同性愛に関するからかい嫌がらせは、15-30%で男性が多い。
 - ・ 以上の結果より、受容している割合が高いにもかかわらず、からかい嫌がらせの頻度も高率であることから、今後の教育の必要性が示唆された。
- ⑥ 同性愛の知り合いの存在：
 - ・ 知り合いがいる人は平均15%前後。

* 学校でのセクシャルマイノリティーに対する頻回の嫌がらせは、10代男性29%、女性16%であり、米国の大規模若者調査結果の嫌がらせ61%よりもかなり低値であった。また、知人の中での同性愛者の有無については、日本では、男性では8-14%、女性では7-24%で

あったが、ヨーロッパ 27 カ国の調査では、平均 41%が同性愛の知人がいることから、欧米と日本では同性愛に対する学校や社会の現状・意識・態度が異なっている可能性が示唆された。その点を考慮し、日本の現状にあった啓発手法の開発の必要性が示唆された。

⑦ 同性愛についての教育支援の必要性：

- ・ 教育は、30-40%が必要性を感じていたが、支援対策については 20-25%に留まり、自由記載の回答にも示されるように、教育の必要性は感じるが、支援までの必要性は感じていない人も存在した。

2-2. 各国のセクシャルマイノリティー生徒に対する対策に関する文献調査

木原雅子(京都大学大学院医学研究科)

S.Pilar Suguimoto (京都大学大学院医学研究科)

Sakol Sopitarchasak(京都大学大学院医学研究科)

木原彩(京都大学大学院医学研究科)

Bhekumusa W. Lukhele(京都大学大学院医学研究科)

Christina El-Saaidi(京都大学大学院医学研究科)

本多由起子(京都大学大学院医学研究科)

Patou Masika Musumari(京都大学大学院医学研究科)

Teeranee Techasrivichien(京都大学大学院医学研究科)

【 研究の背景・目的 】

一般社会に出た人々に啓発を行うことは容易ではない。それに比べ、学内（中学校や高等学校など）での生徒に対する教育は容易ではないが、一般集団よりも実施可能性が高く、啓発を行う教職員に新たな経費を支払う必要はなく、予算の面から見ても、また全員に情報を提供できるという点から考えても、学校におけるエイズ教育の徹底的普及は極めて重要であると考えられる。我が国の、中学校及び高等学校における性に関する教育は、文部科学省の学習指導要領に沿って実施することが義務付けられている。学習指導要領では、エイズ教育に関しては中学3年生、および高校生に対してHIVの感染経路（血液感染だけでなく性的接触によって感染すること）・症状・予防方法（コンドームが重要であること）についても触れることが記載されている。しかしながら、セクシャルマイノリティーに関する教育にはまったく言及されていない。このような状況、つまり制限の範囲で、セクシャルマイノリティー生徒に対してどのような教育・支援・啓発方法が可能なのか、その実施可能性も考慮したうえで、有効な教育・支援方法の対策を提言することは、我が国のエイズ流行の特徴から考えて、極めて重要であると考えられる。そこで、本研究班では、我が国におけるセクシャルマイノリティー生徒に対して学校で実施可能な教育/支援対策を開発普及を目的とする。

【方法】初年度は、セクシャルマイノリティーに関する教育・支援・啓発方法の開発のための形成調査（formative research）として、先進国のセクシャルマイノリティー生徒に対する教育・支援対策に関する文献レビュー調査を実施した。4データベース（Pub Med, Web of Science, Education resources Information, The Cochrane Library）から、過去10年間（2002-2012年）について、School, questioning, LGBTQ, sexual minority, gay, lesbian, bisexual, suicide, substance, alcohol, victimization, harassment, bullying, support, preventionを複合キーワードとして文献を検索し、研究デザインの質なども考慮し、最終的に15件の文献を分析対象とした。

【結果】効果が見られた対策・方法は、

- ① セクシャルマイノリティーに対する学内の生徒・教職員の肯定的態度の育成(positive school climate)：米国、7,376 人中中学生対象、肯定的態度の学校では、LGB 生徒の抑うつ傾向、自殺未遂、薬物・アルコール摂取が有意に減少。
- ② 教職員の肯定的態度、
- ③ 学内の避難部屋（生徒をくつろがせたり、精神的葛藤を和らげる専門技術を有するスタッフがいる部屋）。
- ④ 学内のいじめ/ハラスメント指針（規則）の作成と実施：カナダの全国生徒調査 3,607 人によると、指針のある学校では、ない学校に比べ、性的多様性に関するいじめ嫌がらせが減少。2011 年、米国の全国調査（13-20 歳）8,584 人対象でも同様の傾向が観察されたが、オーストラリアの調査では、嫌がらせは減少したが、自傷行為、自殺には影響なしであった。
- ⑤ Gay-straight alliance(GSA):GSA は生徒主導の学内クラブでメンバーは性的指向に関係なく誰でも参加可能。カナダ、英国、メキシコ、オランダ、ニュージーランドの高校や中学校で開始。米国 50 州の 8,584 人調査では、GSA の存在が、LGBTQ へのいじめ嫌がらせを減少させ、学校集団帰属意識を増加させた。ウィスコンシン 45 校の中学生 15,965 人調査でも、GSA の存在が不登校、喫煙、飲酒、自殺未遂、Casual sex を減少させた。
- ⑥ 学内カリキュラムに包含：セクシャルリティー関連の情報提供を授業のカリキュラムに入れる。学内のポスター掲示、書籍の紹介。以上、一部はわが国でも実施可能性のある参考情報を入手した。（詳細は、英文報告書参照のこと）

School-based prevention and support interventions targeting questioning youth in developed countries: review of the literature

S. Pilar Suguimoto, MD, PhD

Kyoto University School of Public Health
Department of Global Health and Socio-epidemiology

December 2012

INTRODUCTION

Sexual orientation has been defined as an enduring pattern of or disposition to experience sexual or romantic desires for, and relationships with people of one's same sex, the other sex, or both sexes.^{1,2} A single instance of sexual desire or a single sexual act generally is not regarded as defining an individual's sexual orientation. There are a number of ways to measure sexual orientation, because it is multidimensional: who someone is sexually and emotionally attracted to (attraction), who someone is sexually active with if sexually active (behavior), and how someone actually identify (self-identification). Estimates of the proportion of lesbian, gay, bisexual and adolescents questioning their sexual orientation (LGBQ) may vary across studies depending, not only on the sampling method, but also on the way researchers assess sexual orientation. Moreover, the agreement between stated sexual identity, sexual attraction and sexual experience vary. A large-scale, population-based survey carried out by the Centers for Disease Control and Prevention (CDC) in the United States among public school students in grades 9 to 12, found that 1.0% to 2.6% (median 1.3%) of students identified themselves as gay or lesbian, 2.9% to 5.2% (median 3.7%) as bisexual, and 1.3% to 4.7% (median 2.5%) were unsure of their sexual identity.³ In the same survey, among students who only had sexual contact with the same sex, 0.7% to 6.6% (median 4.4%) was unsure about their sexual identity and this percentage was higher among those who had sexual contact with both sexes, 6.1% to 15.9% (median 10.1%). Among a survey of 8,584 sexual minority students aged 13 to 20 in the United States, 3.7%

Because of the general assumption that all youth are heterosexual and due to social stigmatization and marginalization, LGBQ students have remained largely invisible in schools. They have been called the "hidden youth".⁴

Adolescents face numerous challenges during their development to adulthood. LGBQ adolescents face these typical challenges as well as additional challenges due to longstanding social prejudices and discrimination. Growing research shows that sexual minority youth are more likely to experience various forms of victimization such as missing school because they feel unsafe, been threatened with a weapon, had property stolen or damaged, or been injured in a physical fight. Also, the rates of substance use, suicidality, and social isolation for sexual minority youth are significantly higher compared to their heterosexual counterparts, even when controlling gender, race and age.⁵ Furthermore, among the sexual minority youth, those who are unsure of their sexuality often report more bullying, homophobic victimization, unexcused absences

from school, drug use, feelings of depression, and suicidal behaviours than either heterosexual or lesbian, gay or bisexual students.^{6 7}

Various populations are represented under the umbrella term LGBQ or sexual minority, each with its own concerns and needs. Most studies about sexual minority youth do not include questioning youth because they may constitute a small proportion of the larger sexual minority sample. But, it should be recognized the critical need for more research for this population of adolescents. Other researchers have suggested that questioning youth are equally or even more important to consider than LGB youth in terms of their higher prevalence rates of negative outcomes.⁷

All young people, regardless of sexual orientation, deserve the opportunity to grow and reach a healthy and productive adult life. The challenges faced by sexual minority adolescents can have lasting, damaging results if proper support is not available. As school is an influential environment, the present review aims to examine effective types of school-based interventions intended to provide support and prevention of negative outcomes for questioning youth in other developed countries.

METHODOLOGY

This is a search of the published literature readily available to describe effective school-based prevention and support interventions targeting questioning youth from junior high school and high school age in other developed countries.

We focused on the following issues: suicidality, substance use, sexual risky behaviours, truancy, victimization, and social isolation.

Search strategy

Each review consisted of an electronic database search for publications during the last 10 years (2002 to 2012) using four scientific article databases, PubMed, Web of Science, Education Resources Information Centre, and The Cochrane Library. All searches were limited to the English language. For each individual review, the titles and abstracts of the articles initially identified by the searches were screened to determine their relevance. Articles that were not relevant were excluded at this stage, while relevant studies and reviews were retained and the full-text article examined. All reference lists from selected studies were screened for additional citations. Results not including questioning youth population were excluded.

Terms

We previously mentioned that sexual orientation is a multidimensional construct, and it is worth mentioning that it is different from gender identity. Gender denotes the cultural meaning of patterns of behavior, experience and personality that are labeled masculine or feminine. Gender identity refers to a person's basic sense of being a man or boy, a woman or girl, or another gender (eg: transgender, bi-gender or gender queer—a rejection of the binary classification of gender).⁸ Studies about sexual minority youth often include transgender people in addition to lesbian, gay, and bisexual youth. Therefore, when we did our search we included the transgender population represented with the letter "T". Also, the term questioning youth may refer to those unsure of their sexual orientation or gender identity. But, this review is mainly focused on sexual orientation groups.

The following search terms were used alone or in combination: School/ questioning/ LGBTQ/ LGBQ/ sexual minority/ gay/ lesbian/ bisexual/ suicide/ substance/ alcohol/ victimization/ harassment/ bullying/ support/ prevention.

Purpose

Because schools play a key role in adolescents' lives, the purpose of this review is to provide an overview of school-based interventions targeting questioning youth in other developed countries. We considered questioning youth as those unsure of their sexual orientation. We also include data from studies using nonprobability samples.

RESULTS

We did not find any school based intervention targeting solely youth unsure of their sexual orientation. Papers identified in our search included studies among different combinations of sexual minority groups, such as GBQ, LGQ, LGBTQ, or LGBQ, examining the influences of school-based factors in the selected negative outcomes (suicidality, substance use, sexual risky behaviours, truancy, victimization, and social isolation). Considering the methodological limitations of the studies we revised, overall, they showed that positive school climate was associated with reduced negative outcomes. However, most efforts to improve the school environment for sexual minority youth have not been carefully evaluated.

School environments vary greatly, not only within a country but also between different countries. The quality and character of school life is referred to as school climate. It is based on patterns of student', parents', and school personnel's experience